

## 『ブートストラップ 人間の知的進化を目指して』



ティエリー・バーディーニ 著  
森田 哲 訳  
ISBN 4-87566-256-4  
2,940 円  
コンピュータエージ社

書店で品切れの場合は、出版社に在庫があるので問い合わせてください(03-5531-0070)

### 孤高の研究者ダグラス・エンゲルバートに、デジタルコミュニケーションの未来を学ぶ

井芹 昌信(いせり まさのぶ)本誌編集長

本書は、デジタルコミュニケーションのルーツとして、今月号でインタビューしているダグラス・エンゲルバート教授のコンピュータ研究史を紹介した貴重な記録である。本書でも触れているが、エンゲルバート教授は貢献に比して世に知られておらず、その功績を日本語で体系的に読めるのは本書のほかにはない。

教授の功績として最初に挙がるのはマウスの発明だが、その他にマルチウィンドウ、ハイパーメディア、テレビ会議など、今日のパーソナルコンピュータの在りようを30年以上も前に提示していた先見性は神業に思える。

特に、教授の研究が異彩を放つのは、多くのコンピュータ研究家がサイエンスま

たはコンピュータ産業の視点から考察しているのに対し、教授は社会学の視点からもそれを捉えている点である。たとえば教授は、どうすればコンピュータが人間の役に立つ存在になるのかを考察しているが、同時にそれを使うユーザーとしての人間がコンピュータを利用することによって、どう進化していくのかも研究対象として捉えている。

本書は約450ページの大作であり、通読にはそれなりの覚悟がいる。しかし、訳者である森田氏も書かれているように、ツールとしてのPCやインターネットがこれほど成熟し、次を模索している今だからこそ、教授の研究と理論が見直される意義があるように思う。

## 『量子コンピュータとは何か』

### 量子コンピュータとは何かを理解するための「近道」 難解きわまりない気鋭サイエンスライターの力作にして労作

喜多 充成(きた みつなり)科学技術ライター

今年は特殊相対性理論の発表からちょうど100年目の「奇跡の年」だが、その震源地であるアインシュタインでさえ、「神がさいころ遊びなどするはずがない」と死ぬまで量子論には懐疑的だったらしい。我々からすると、相対論も量子論も、難解さに大差はないのだが、とりわけ量子論は「人間の脳は、量子の法則を直感的に理解するにはできていない。そこに理由などない(本書より)」というほど難解な領域だ。そして本書は、そうした著者の開き直りを出発点とする、いさぎよくも挑戦的な書物なのである。

登山家にとっての未踏峰と同じく「難解で、かつ影響の範囲が広いテーマ」は書き手にとっても魅力的であるが、表現

や比喻に悩みすぎでの転落の危険もつきもの。著者はこの挑戦に、十分な準備、体力と知力をもって取り組み、豊富な技と手数(オリバー・サックスの『素数兄弟』私も使いたいネタだった!)でポイントを獲得、見事優勢勝ちを収めている。

原題を直訳すれば「時を近道する方法～量子コンピュータという抜け道」とでもなるうか。「暗号解読にかかる計算時間を劇的に短縮する量子コンピュータ」という意味のほか、「難解な対象を短時間で理解できるようにする」という二重の意味で「SHORTCUT」が使われている。学問を究めるには王道も霸道もないが、入門の近道はありそう。読むに価する一冊である。



ジョージ・ジョンソン 著  
水谷 淳 訳  
ISBN 4-15-208607-6  
1,890 円  
早川書房

本でしか得られない知識がある。  
今月の、お勧め、お役立ち、元気になる書籍。

## 『ソフトウェアの匠』



まつもと ゆきひろ、羽生田 栄一、  
萩原 正義、八田 真行、高林 哲、  
津留 雅文、八幡 勇一、今野 浩 共著  
ISBN 4-8222-0665-3  
2,480 円  
日経 BP 社

### 8人の匠たちに学ぶソフトウェアの理論と技術 将来の匠を目指す技術者必読の一書

富樫 純一(とがし じゅんいち)大神企画代表、編集者

「匠(たくみ)」という言葉から思い浮かべるのは、目で見て、手に触れ、あるいは耳で聴いて確かめられる作品を創り出す、卓越した技術を持った職人や芸術家の姿である。しかし、目に見えず音も聞こえない、けれどもコンピュータシステムを動かすために欠かすことのできないソフトウェアの世界にも、歴とした匠がいる。そんな事実改めて気付かせるのが、日経BP社刊『ソフトウェアの匠』だ。

現代におけるソフトウェアの分野は、プログラミング言語をはじめとする基盤技術を中心に、思考や設計、応用などのさまざまな実装方法論がある。そうした技術を巧みに操り優れたソフトウェアを開発する それはある意味で匠と呼

ぶに相応しい、職人であり芸術家である。本書には、そうしたソフトウェアの世界に身を置く匠が8人登場する。いずれもその世界では著名な第一人者である。

ただし、本書は匠自身の生い立ちを語った、いわゆる伝記や文芸書のたくいではない。あくまでもコンピュータ技術書であり、匠自身が持論と技術を説いた内容になっている。

専門分野は違えども、それぞれの匠に共通しているのは、自身の確固たる理論と、それを具現できる技術を持ち合わせていること。そうした理論と技術が、限られたページに要約されている。将来の匠を目指す技術者にとって、価値ある一書である。

## 『ケータイ白書2005』

### 意外な結果多く興味深いユーザー利用実態調査 海外関係情報の充実が望まれる

山川 健(やまかわ たけし)ジャーナリスト

携帯電話サービスが始まったのは東京地区での自動車電話が1979年。25年の歴史を持ちながら、今回初めて『ケータイ白書2005』の名で市場動向を幅広く網羅的に分析する書籍が発刊された。遅きに失した感否めないとはいえ、携帯電話関連の分析書が、手に入りやすい形で総合的な内容となって世に出たことは、賞賛に値する。

携帯電話のユーザーは8,500万とほぼ飽和状態の中、事業者を変えても電話番号が変わらない番号ポータビリティの導入が2006年に予定され、各事業者によるユーザー獲得競争は激しさを増している。本書の6割にあたる200ページ近くを割いた第1部の利用者動向は、ユー

ザーのニーズを知るうえで、事業者にとっても大いに参考になるだろう。

ユーザー利用実態調査では、番号ポータビリティを知らない層が過半数を超えていること、日常的なカメラ利用者が1割余りと少なく、オンラインショッピングは3割、出会い系サイトは2割以上と、予想以上に使われている点など、意外な結果も多く興味深い。

今後の携帯電話のキーワードは3Gと定額制。3Gでは国際ローミングも特徴のひとつだ。しかし本書ではほとんど触れられていない。海外事業者動向でも3Gが始まった欧州やユーザーの多いアジアの記述は少なく、後進国の米国に詳しい内容になっているのが残念だ。



モバイル・コンテンツ・フォーラム 監修  
ISBN 4-8443-2048-3  
7,140 円  
インプレス



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)